令和4年(2022)度　学校教育自己診断　教職員用　集計結果

deta総数　42　よくあてはまる＝A　ややあてはまる＝B　あまりあてはまらない＝C　まったくあてはまらない＝D

令和5年1月11日

		結果							分析		前年度	
		A	B	C	D	未記入	総数	有効deta	肯定数	肯定率	肯定率	増減
1	教育活動全般について、教職員で日常的に話し合っている。	11	25	6	0	0	42	42	36	85.7%	87.5%	-1.8%
2	この学校には他校にない特色がある。	12	25	5	0	0	42	42	37	88.1%	82.5%	5.6%
3	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	1	35	3	3	0	42	42	36	85.7%	77.5%	8.2%
4	教育活動全般について生徒や保護者の願いに応えている。	6	33	2	1	0	42	42	39	92.9%	92.5%	0.4%
5	教員は生徒の意見にきちんと耳を傾けている。	8	29	5	0	0	42	42	37	88.1%	90.0%	-1.9%
6	各教科において、教材の精選・工夫を行っている。	15	26	1	0	0	42	42	41	97.6%	97.4%	0.2%
7	教員は授業の指導法について、工夫・改善に努めている。	17	24	1	0	0	42	42	41	97.6%	97.4%	0.2%
8	指導内容について他の教科の教員と話す機会がある。	9	22	11	0	0	42	42	31	73.8%	87.2%	-13.4%
9	創意工夫を生かした「総合的な学習の時間」を実施している。	17	20	3	2	0	42	42	37	88.1%	92.3%	-4.2%
10	思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。	6	30	6	0	0	42	42	36	85.7%	89.7%	-4.0%
11	到達度の低い生徒に対して手厚い学習指導を行っている。	8	22	12	0	0	42	42	30	71.4%	82.1%	-10.6%
12	評価の在り方について話し合う機会がある。	11	27	4	0	0	42	42	38	90.5%	92.3%	-1.8%
13	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	7	24	11	0	0	42	42	31	73.8%	87.2%	-13.4%
14	生徒の問題行動が起きた時、組織的に対応できる体制が整っている。	9	22	9	2	0	42	42	31	73.8%	82.5%	-8.7%
15	様々な問題行動の防止のため早期指導に学校全体で取り組んでいる。	11	21	8	2	0	42	42	32	76.2%	72.5%	3.7%
16	教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談できる。	13	22	7	0	0	42	42	35	83.3%	97.5%	-14.2%
17	生徒指導において家庭との連携ができている。	15	24	3	0	0	42	42	39	92.9%	94.9%	-2.0%
18	生徒指導において、外部の関係諸機関との連携ができている。	9	24	9	0	0	42	42	33	78.6%	79.5%	-0.9%
19	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、話し合う機会がある。	3	15	20	4	0	42	42	18	42.9%	59.0%	-16.1%
20	生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるよう指導を行っている。	12	26	4	0	0	42	42	38	90.5%	94.9%	-4.4%
21	学校行事が生徒にとって魅力あるものになるように工夫・改善を行っている。	9	29	3	1	0	42	42	38	90.5%	85.0%	5.5%
22	生徒会活動など、生徒による民主的で主体的な活動を支援している。	11	26	4	1	0	42	42	37	88.1%	95.0%	-6.9%
23	学校として、部活動の活性化について工夫している。	10	25	7	0	0	42	42	35	83.3%	90.0%	-6.7%
24	学校として、読書指導に取り組んでいる。	3	14	21	4	0	42	42	17	40.5%	52.5%	-12.0%
25	情報リテラシーを高める教育に取り組んでいる。	8	25	9	0	0	42	42	33	78.6%	82.5%	-3.9%
26	生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	6	27	9	0	0	42	42	33	78.6%	77.5%	1.1%
27	奉仕などの体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	1	17	22	2	0	42	42	18	42.9%	55.0%	-12.1%
28	人権尊重に関する課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	4	23	11	4	0	42	42	27	64.3%	87.5%	-23.2%
29	いじめが起こった場合の体制が整っており、迅速に対応することができる。	14	22	5	1	0	42	42	36	85.7%	100.0%	-14.3%
30	環境・国際理解・福祉ボランティアなど現代社会の教育課題を取り入れている。	9	27	5	1	0	42	42	36	85.7%	97.5%	-11.8%
31	体罰やセクシャルハラスメント防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生徒指導が行われている。	9	24	9	0	0	42	42	33	78.6%	92.3%	-13.7%
32	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	8	26	4	4	0	42	42	34	81.0%	92.5%	-11.5%
33	学校運営に教職員の意見が反映されている。	5	24	12	1	0	42	42	29	69.0%	81.6%	-12.5%
34	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	6	20	13	3	0	42	42	26	61.9%	79.5%	-17.6%
35	各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	6	20	13	3	0	42	42	26	61.9%	75.0%	-13.1%
36	職員会議をはじめ各会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	5	22	13	2	0	42	42	27	64.3%	72.5%	-8.2%
37	教職員が様々な課題や悩みについて気軽に話し合えるような職場の人間関係ができている。	7	27	8	0	0	42	42	34	81.0%	85.0%	-4.0%
38	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	6	30	6	0	0	42	42	36	85.7%	82.5%	3.2%
39	教職員の服務規律への自覚が高い。	13	24	5	0	0	42	42	37	88.1%	90.0%	-1.9%
40	事故・事件・災害等に迅速・適正に対処できるよう、役割分担が明確化されている。	7	25	9	1	0	42	42	32	76.2%	85.0%	-8.8%
41	学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。	14	25	3	0	0	42	42	39	92.9%	95.0%	-2.1%
42	清掃が行き届いている。	4	27	8	3	0	42	42	31	73.8%	80.0%	-6.2%
43	コンピュータやICT機器が授業で活用されている。	24	17	1	0	0	42	42	41	97.6%	100.0%	-2.4%
44	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	13	22	5	2	0	42	42	35	83.3%	92.5%	-9.2%
45	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	4	19	16	3	0	42	42	23	54.8%	69.2%	-14.5%
46	他の教職員の授業を見学する機会がある。	17	21	4	0	0	42	42	38	90.5%	92.3%	-1.8%
47	府などの主催する研修に計画的に参加できる体制が整っている。	7	26	7	2	0	42	42	33	78.6%	92.5%	-13.9%
48	指導要録の記載・点検が適正に行われている。	15	24	3	0	0	42	42	39	92.9%	97.4%	-4.6%
49	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	8	30	4	0	0	42	42	38	90.5%	95.0%	-4.5%
50	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	8	30	4	0	0	42	42	38	90.5%	90.0%	0.5%
51	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。	6	31	5	0	0	42	42	37	88.1%	77.5%	10.6%
52	教職員はPTA活動に参加している。	7	24	11	0	0	42	42	31	73.8%	75.0%	-1.2%